

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

別添資料

公表： 令和4年度

事業所名 リバー学習センター

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2 職員の配置数は適切である	○		個別で学習支援をしているため、十分な人数を確保している。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		玄関口に段差があるため、来所時と退所時に付き添いしている
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			ミーティングは、必須で行い全体会議も定期的に行っている。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		記録を残して、ミーティングで内容を共有している	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			事業所内に掲示しホームページで公開している。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		重要事項説明書において、第三者評価を行わない旨を記載している
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		月1度の事業所内研修の他、オンライン等を利用して外部の研修にも参加している	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			学校保護者と連携を取り日々の気づきと合わせ計画を作成している。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している		○	大阪市の参考様式を事業所の目的に合わせた様式に変更して使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各児童に合ったプリント、テキスト等を相談しながら選んでいる。
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		担当制を設けないことで、色々な講師に当たるようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		時間に余裕のある長期休暇中は、普段とは違う内容を学習できる様工夫している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			学習支援を個別に行っているため集団活動は計画していない。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日ミーティングを行っている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	残業無しを推進するため、急ぎの件以外は翌日のミーティング時に合わせて共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		指導記録に毎回の学習の様子を記録することで、情報を共有している	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			6か月に1回個別計画書を作成している。

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○		
関係機関や保護者との連携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者が参加している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者からの希望や相談を聞き、学校の先生とも連絡を取り合っている。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○		医療的ケアが必要な子供は現在いないが連絡体制は整えている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	学習支援を行っているため、就学前の情報が必要となることはないが、必要とあれば連携を取っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		必要な研修は受けている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		検定時に外部の方や学習塾の生徒と交流する機会がある
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		淀川区こども支援部会に積極的に参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		事業所内相談、連絡帳等で意見交換をし課題を設定している
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		送迎のある子どもに対しては事業所内でP.T支援を行っている
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		事業所内に掲示し、契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		事業所内相談の時間を設けたり送迎時に時間を作って行っている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者から保護者会等を希望しないとの要望が多いため、現状は支援を設けていない
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情の窓口を設けている。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		活動内容は専用の連絡帳でやり取りをしてい
	35	個人情報に十分注意している	○		鍵付き書庫に保管している
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	学習支援を個別に行っているため、地域行事には参加していない。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		いつでも閲覧できるように事業所内に配置している	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年間計画を作成しており地震・水害・火災等必要に応じた避難訓練を行っている	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			大阪府の資料などでミーティングを行っている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			該当者は居ないが今後のため研修やミーティングを行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○		食事は提供していない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			いつでも閲覧できるように事業所内に配置している